

練馬区の将来像を考える区民懇談会

## 健康福祉分野分科会 最終報告書（たたき台）

### 1. 現状における課題

#### （1）「地域社会」に係る課題

- ・地域における人間関係の希薄化が、介護や子育てに際しての孤立感を増大させています。障害のある人やお年寄りを中心に、生活不安が広がっています。
- ・一人暮らし高齢者世帯が増加しており、その孤立が不安視されています。特に、介護においては、一人暮らし高齢者世帯は同居世帯に比べ、在宅介護が困難となるケースが多いと考えられることから、相互扶助による仕組みの形成が求められています。

#### <ワークショップにおける討議結果>

- \* **地域における人間関係の希薄化が、介護、子育ての孤立感を増大させています。**
  - ・地域社会における人と人との関係が希薄化しており、介護、子育てなどの場面で孤立感を深めることが多くなっています。
  - ・社会の先行きに不透明感もあり、障害のある人やお年寄りは、とりわけ生活に対する不安を抱えています。
- \* **一人暮らし高齢者世帯が増加しており、特に孤立感を深める恐れがあります。**
  - ・練馬区の一人居らし高齢者世帯数は、他区に比べても非常に多くなっています。
  - ・一人暮らし高齢者は、健康面の問題や適当な活動の場がない等の理由から孤立しがちで、周囲との人間関係も希薄化しています。
  - ・高齢者世帯が増加しており、介護者の負担軽減がないと在宅介護が難しくなっています。

## (2) 「子育て支援」に係る課題

- ・安心して子育てに専念でき、子育てと親のキャリアアップが両立するような社会環境の整備と意識改革が求められています。
- ・出産から育児、保育所、幼稚園、学校まで子育てしやすい環境を整え、またそれをサポートするシステム（行政と地域力）が必要とされています。

### <ワークショップにおける討議結果>

#### \* 安心して子育てができる社会環境と意識改革が必要とされています。

- ・子どもの立場から言えば、乳幼児期は少しでも家族と一緒にいる時間が大切ですが、働き方や家族のあり方の変化などによるライフスタイルの多様化の現実があり、社会環境や一人一人の意識改革が追いついていません。
- ・本当は3歳まで休職したいのに、3歳からでは保育園に入りにくいので、0歳から入園できるよう復職する女性や、復職が難しくなることを避けるために早期に復職する人、また保育園に入れず退職してしまう女性も多くなっています。
- ・安心して子育てができる社会環境と意識改革が必要とされています。

#### \* 子育てをサポートするシステムが必要とされています。

- ・出産から育児、保育所、幼稚園、学校まで子育てしやすい環境を整え、またそれをサポートするシステム（行政と地域力）が必要とされています。
- ・練馬区の保育サービスの質を維持しながら、家族ごとのライフスタイルにあったメニューも選択できるよう、保育時間などの面において多様なサービスが求められています。
- ・練馬区では、様々な子育て支援の取り組みがありますが、中には十分に知られていない取り組みもみられます。このため、子育て支援に関わる既存のリソース（資源～人・もの・場所～）を最大限活用していくことが求められます。

### (3) 「高齢者・障害者福祉」に係る課題

- ・ 緊急入院の受け入れが可能な病院など医療環境の整備や、認知症予防・歯科医療の受診体制の整備など健康増進のための取り組みが必要とされています。
- ・ 障害者に対する正しい理解を促進し、障害者が地域の中で自立した生活が営まれるよう、地域社会全体で障害者の自立を支援していくことが求められています。
- ・ 市民、事業者、行政が一体的に活動できるような推進制度が求められています。

#### <ワークショップにおける討議結果>

- \* **緊急入院の受け入れが可能な病院が求められています。**
  - ・ 練馬区は、他区より健康福祉の面では進んでいますが、病床数などの医療の面では遅れています。
  - ・ 緊急入院の受け入れが可能な病院が不足しています。
- \* **認知症予防や歯科医療の受診体制の整備など健康増進のための取り組みが必要とされています。**
  - ・ 認知症予防の活動のネットワークを広げていくことが求められています。
  - ・ あらゆる世代が平等に手厚い歯科医療が受診できる体制が求められています。
- \* **障害者の自立支援の促進や障害者に対する正しい理解が求められています。**
  - ・ 障害者自立支援法により就労支援事業が推進されていますが、親の高齢化に伴う親子入居可能グループホームの設置などの検討が必要とされています。
  - ・ 高齢者、障害者が地域の一員として当たり前前に暮らせる様なノーマライゼーションの視点が重要となっています。
  - ・ 障害者の生活のしづらさ、ホスピタリズムに対する理解と啓発を進め、理解をもって人々が生活できるようにすることが求められています。
  - ・ 外見で分かる障害に対する保障や支援は広がってきていますが、認知症、自閉症、高次脳機能障害、AD/HD（注意欠陥/多動性障害）、LD（学習障害）等外見では分からない障害に対する理解は十分に進んでいません。これらの障害に対する支援の拡大が必要となっています。
- \* **市民、事業者、行政が一体的に活動できるような推進制度が求められています。**
  - ・ 市民、事業者、行政が一体的に活動できるような推進制度が必要とされています。
  - ・ 行政には、地域の相談窓口や関係機関など現在不備がある点を見直していくことが求められています。また、地域でのまとまりを向上させるための組織の見直しなどが求められています。

## 2. 練馬区がめざすべき将来像

### (1) 「悩みや不安を身近で解消できる地域社会」をめざします

- ・誰もが安心して暮らすことができ、身近な地域で、気軽に安心して悩みや不安を相談できる「悩みや不安を身近で解消できる地域社会」をめざします。

#### <ワークショップにおける討議結果>

- \* **支え合いつながりを持てる地域社会**
  - ・一人暮らし高齢者が安心して住める町
  - ・地域での連帯感の共有
  - ・つながりをもてる“場”
  - ・経験や知識を活かす支えあいの地域づくり
- \* **気軽に悩みを相談でき、情報交換ができる場**
  - ・高齢者や、その家族が医療、健康、介護などに関して、安心して相談し、今後どうしたら良いかなどのアドバイスをもらえる。
  - ・高齢者、子育て中の人、軽度の障害のある方、介護者など、少しの時間を集い、そこで息ぬき、情報交換ができる。
  - ・郵便局、薬屋さんで介護の相談が気軽にできる。
  - ・町の商店街に、ほっとステーションのようなものができ、高齢者、子ども、子育て中の親子などが気軽に集い、顔のみえる地域
  - ・コミュニティーの場（顔が合わせられる様な場所）

**(2)「子育てする人が引っ越してきたい街 長く住み続けたい街」をめざします**

- ・練馬区の子育てしやすい良い面を伸ばしていくことにより、子育て中の家族が、安心して子育てでき、住み続けることができる **「子育てする人が引っ越してきたい街 長く住み続けたい街」**をめざします。

**<ワークショップにおける討議結果>**

**\* 不安なく子育てができる社会**

- ・不安なく子育てができる社会
- ・現代の子育ての大変さへの理解が市民一人ひとりに浸透している状況
- ・虐待、いじめ、非行を最大限予防し、起きた時には最適な対処のできる社会
- ・子育て中の家庭もそうでない家庭も、同様に人生を愉しめる社会

**\* 住み慣れた地域で長く住み続けたいまち**

- ・地域で子育てを応援し、住みなれた地域で、老後を迎えることができる
- ・世代を超えて助け合い、住んでいてよかったと思える町（子育て終了世代が若い世代を応援する、あるいは、今の10代が練馬で子育てをして、親の世代や障害のある人を支えていける）
- ・子育てする人が一度居ついたら居続けたくなる街

**（3）「地域の人と関わり支え合いながら高齢者、障害者の方が明るく暮らせるまち」をめざします**

- ・高齢者や障害者の方が住み慣れた地域で健康で明るく暮らせる「地域の人と関わり支え合いながら高齢者、障害者の方が明るく暮らせるまち」をめざします。
- ・あらゆる世代が基本的人権を理解し、守ることで、高齢者や障害者に対する理解の輪を広め、地域における専門家を含めたネットワークの形成をめざします。

**<ワークショップにおける討議結果>**

**\* 地域の人との関わり、支え合い**

- ・こどもからお年寄り、障害者までお互いをたすけあえる社会
- ・高齢者や障害者が地域で自分なりの生きがいや励みとなるもの、あるいは人とのつながりをもって生活できる
- ・住みなれた町、地域で過ごせるようにする
- ・地域社会の自立・共生

**\* 高齢者、障害者の方が明るく暮らせる**

- ・高齢者、障害者が地域の一員として当たり前で暮らせる
- ・認知症を発症しても、地域の人に支えられて暮らせる町
- ・都内で一番認知症予防に力を入れている町
- ・認知症の人が住み慣れた町
- ・子どもからお年寄りまで誰しものが、何の不安もなく心身ともに健康で生きていけるまち
- ・医療の充実したまち
- ・健康年令が延びている
- ・小、中学校で介護施設などの施設で、ボランティアと交流が盛ん
- ・地域で楽しく生活していける環境のある場所が多くつくられている
- ・支援される側だけでなく、時には支える側にもなり、いきいきと暮らせる

### 3. 将来像の実現に向けた取り組み

(1) 「悩みや不安を身近で解消できる地域社会」をめざします

#### ①取り組みの方向性

a) 気軽に悩みや困り事を相談できる地域の拠点づくりを推進します

地域における総合相談窓口の設置や広報の充実などにより、悩みや問題を抱える人が気軽に集い、顔を合わせられるような居場所づくりを推進します。

b) 地域の人的資源のネットワークづくりを推進します

総合相談窓口の運営を支える地域の関係団体との協力体制を構築し、地域の人的資源のネットワークづくりを推進します。

c) 心と体の健康づくりを推進します

関係機関・関連施設における社会資源やネットワークを活用して高齢者の生きがいを支援し、高齢者の心と体の健康づくりを推進します。

#### ②具体的事業のアイデア

<事業名一覧>

a) 気軽に悩みや困り事を相談できる地域の拠点づくりを推進します

**事業 a-1：地域の総合相談窓口の設置**

**事業 a-2：おしゃべりと食のたまり場づくり（総合相談窓口に併設）**

**事業 a-3：総合相談窓口のホームページ作成**

b) 地域の人的資源のネットワークづくりを推進します

**事業 b-1：総合相談窓口の運営を支えるネットワークづくり**

c) 心と体の健康づくりを推進します

**事業 c-1：高齢者の生きがいづくりに関する情報提供の充実**

### ＜各事業の内容＞

a) 気軽に悩みや困り事を相談できる地域の拠点づくりを推進します

#### 事業 a-1：地域の総合相談窓口の設置

目 的	身近な地域における悩みや困り事の整理・相談
実施内容	<p>区民が悩みや困り事を気軽に相談できる総合相談窓口を、身近な地域単位で設置する。相談業務以外にも地域のボランティアの取り組みの紹介や、地域の情報紙、催し物の案内などを展示し、区民の情報発信基地としての機能も持たせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区は、学校の空き教室や商店街の空き店舗、昼間の私塾等、相談窓口の場の斡旋を行うとともに、運営に関する法的支援や経済的支援（区内企業への協賛金の依頼も含む）など、運営の側面支援を行う。また、庁内各部署の既存事業の情報集約と連携を促進する。</li> <li>・ 区民のボランティアが総合相談窓口を運営する。基本的には、運営には誰でも参加できるが、窓口には、相談内容の交通整理を行うとともに、相談内容に応じて、既存の専門相談窓口や区の関係部署、専門ボランティアなどを紹介できる専門性と総合的な判断能力を持つ人材を配置する。</li> <li>・ 主たる運営資金は、区内企業に協賛を募って調達する。協賛企業名は、総合相談窓口のホームページやチラシに掲載するとともに、協賛企業側でも総合相談窓口への協賛を積極的にPRしてもらい、総合相談窓口の運営、協賛企業の双方にメリットが感じられる仕組みをつくる。</li> </ul>

#### 事業 a-2：おしゃべりと食のたまり場づくり（総合相談窓口と併設）

目 的	総合相談窓口に来た人同士の交流・ネットワークづくりの促進
実施内容	<p>地域の総合相談窓口と併設して、食事を提供できる場を設置し、窓口に来た人が気軽に食事をとり、おしゃべりに参加できるようにする。そうすることで、窓口に来た人同士の情報交換や交流を促進し、人に会うことで元気になるたまり場の形成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区は、すでに「たまり場」になっている場所や、公民館や公共施設など「たまり場」になりそうな場所を広く紹介していく。また、食事の提供にあたっては、地産地消を奨励していく。</li> <li>・ 「たまり場」の運営は、総合相談窓口と一体的に区民のボランティアが主体的に運営する。</li> <li>・ 区内の事業者は、お店（食事処、カフェ等）、事務所など、既存の建物（スペース）を無償提供するなど、魅力的で個性的な「たまり場」づくりに協力していく。</li> </ul>

#### 事業 a-3：総合相談窓口のホームページ作成

目 的	総合相談窓口やたまり場に蓄積される情報の発信とノウハウの活用
実施内容	<p>地域の総合相談窓口のホームページを作成し、相談窓口やたまり場に集まる様々な情報やノウハウをインターネットで発信していく。また、インターネットでも情報交換や相談できる仕組みをつくる、</p>



## b) 地域の人的資源のネットワークづくりを推進します

**事業 b-1：総合相談窓口の運営を支えるネットワークづくり**

目 的	総合相談窓口の運営体制の構築
実施内容	<p>地域の総合相談窓口の運営を支える人材や組織のネットワークづくりを推進する。具体的には、地域の医療機関（かかりつけ医・薬局）、教育機関（小中学校のPTA、保育園・幼稚園の父母会）、保健相談所、町会・自治会・老人会、地区区民館、高齢者センター等の団体・機関との協力体制を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区は、こうしたネットワークづくりの取り組みを支援する。</li> </ul>

## c) 心と体の健康づくりを推進します

**事業 c-1：高齢者の生きがいづくりに関する情報提供の充実**

目 的	高齢者の生きがいづくりの促進
実施内容	<p>高齢者が、地域で生きがいを見つけることができるよう、関係機関・関連施設における社会資源やネットワークを活用して生きがいづくりに関する様々な情報提供を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区は、体操、コーラス、ウォーキング、健康マージャン、美術館での鑑賞教室、体育館での健康づくり教室等の様々な生きがいに関する情報提供を充実させる。</li> <li>・ 高齢者は、こうした活動に積極的に参加するとともに、同好者の仲間づくりにも取り組み、心と体の健康を維持する。</li> </ul>

(2)「子育てする人が引っ越してきたい街 長く住み続けたい街」をめざします

①取り組みの方向性

a) 地域における子育て支援の拠点づくりを推進します

身近な地域において、あらゆる子育て支援機能を集約した総合的な子育て支援拠点の整備による子育ての拠点づくりを推進し、子育て中の家族が地域で安心して子育てに取り組むことができるようにします。

b) 既存の地域資源を十分に活用しながら子育てができる地域づくりを推進します

地域における子育て支援のコーディネート機能を強化し、子育て中の家族が、子育てに関する既存の地域資源を十分に活用して、子育てに取り組むことができるようにします。

c) 心と体の健康づくりを推進します

自然空間を活かした遊び場を設置し、子どもの心と体の健康づくりを推進します。

②具体的事業のアイデア

<事業名一覧>

a) 地域における子育て支援の拠点づくりを推進します

**事業 a-1：子育て支援センターの整備**

b) 既存の地域資源を十分に活用しながら子育てができる地域づくりを推進します

**事業 b-1：子育て支援コーディネーターの設置と育成**

**事業 b-2：子育てメールサービスの実施**

c) 心と体の健康づくりを推進します

**事業 c-1：空き地や雑木林などの空間を活かした遊び場の設置と管理**

<各事業の内容>

a) 地域における子育て支援の拠点づくりを推進します

**事業 a-1：子育て支援センターの整備**

目 的	地域における子育て支援機能の集約
実施内容	<p>身近な地域において、子育て中の家族を支援する様々な既存の資源に関する情報を一元的に提供できるよう、出産から育児、保育所、幼稚園、学校まで、子育て時期に応じたあらゆる子育て支援機能を集約した総合的な子育て支援拠点の整備を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区と民間の施設管理者は、小学校の空き校舎等を活用し、こうした施設の整備を進める。施設には、子どものための相談窓口や、保健・保育の相談窓口、相談時に子どもを預かってくれる保育施設を含む。</li> </ul>

b) 既存の地域資源を十分に活用しながら子育てができる地域づくりを推進します

**事業 b-1：子育て支援コーディネーターの設置と育成**

目 的	地域における子育て支援環境の充実
実施内容	<p>子育てに関する地域の既存資源を十分に把握し、様々な相談に対応でき、問題の解決に向けて既存資源を活用したアイデアを提案できる、子育て支援コーディネーターを育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区は、リタイア後の団塊世代など、子育てに関して豊富な経験とノウハウを持つ人材の把握に努める。また、リタイア後の世代に対して、既存の区やNPO等による取り組みに関する講習を実施して、子育て支援コーディネーターの育成に努める。</li> </ul>

**事業 b-2：子育てメールサービスの実施**

目 的	いつでもどこでも利用できるインターネットやメールの特徴を生かした子育てに関する情報伝達とコミュニケーションの促進
実施内容	<p>区の子育て支援に関する事業や施設などを有効に活用してもらうために、手軽な携帯電話を活用して子育てに役立つ情報をメールで送付するサービスを実施する。</p>

c) 心と体の健康づくりを推進します

**事業 c-1：空き地や雑木林などの空間を活かした遊び場の設置と管理**

目 的	子どもの遊び場の確保と、心と体の健康の増進
実施内容	<p>空き地や雑木林など身近な自然空間を活かし、管理され過ぎず、かつ、地域住民の見守りボランティアなどにより安心して子どもを遊ばせることのできる遊び場を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区は、遊び場の整備、管理に向けて、行政と区民・NPO等がパートナーシップを築けるよう、支援する。</li> <li>区民は、遊び場の管理、運営に積極的に関与する。</li> </ul>

(3)「地域の人と関わり支え合いながら高齢者、障害者の方が明るく暮らせるまち」をめざします

①取り組みの方向性

a) 地域における高齢者や障害者と子どもの交流拠点づくりを推進します

高齢者や障害者の心身の健康づくりのために、小学校の空き教室など既存施設を活用するなど、子どもとお年寄りや障害者がふれあえる交流拠点づくりを推進します。

b) 地域福祉の理解とネットワークづくりの促進

専門家・行政を含めた地域全体のネットワークを形成し、障害者に対する正しい理解の促進や自己実現の支援を促進するとともに、

b) 心と体の健康づくりの推進

高齢者の健康づくりや認知症予防に関する既存の取り組みのPRを強化するとともに、既存の体力づくりの取り組みへの参加を促進し、高齢者の心と体の健康づくりを推進します。

②具体的事業のアイデア

<事業名一覧>

a) 地域における高齢者や障害者と子どもの交流拠点づくりを推進します
<b>事業 a-1：高齢者や障害者が子どもとふれあえる場の整備</b>
b) 地域福祉の理解とネットワークづくりの促進
<b>事業 b-1：障害者の自己実現を支援する地域全体のネットワークづくり</b>
<b>事業 b-2：区民、事業者、行政が一体となって地域福祉に取り組むことができる体制の構築に向けた行政組織の見直し</b>
c) 心と体の健康づくりを推進します
<b>事業 c-1：高齢者の健康づくりや認知症予防に関する取り組みのPRの強化</b>

a) 地域における拠点づくりを推進します

**事業 a-1：高齢者や障害者が子どもとふれあえる場の整備**

目 的	高齢者や障害者と、子どもたちとのふれあいの場づくり
実施内容	<p>小学校の空き教室など既存施設を活用し、子どもとお年寄りや障害者がふれあえる場所を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区は、小学校の空き教室など、拠点となる場所を提供するなど、活動の場や財政面、情報、ノウハウなどの支援により、体制の充実、活動の活性化を図る。</li> </ul>

## b) 地域福祉の理解とネットワークづくりの促進

**事業 b-1：障害者の自己実現を支援する地域全体のネットワークづくり**

目 的	障害者の基本的人権に対する理解の促進と自己実現の支援
実施内容	<p>障害者の家族、周囲の人々だけでなく、専門家・行政を含めた地域全体のネットワークを形成し、障害者に対する正しい理解の促進や自己実現の支援のための取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者ひとり一人に対するきめ細かな医療、福祉サービスの提供など、個人への働きかけを充実させる。</li> <li>・ 障害者が地域社会に復帰して、他の人と同じ考え、リズムで生活していけるよう、周囲の偏見をなくし、障害者に対する理解を深めるための社会への働きかけを充実する。</li> </ul>

**事業 b-2：区民、事業者、行政が一体となって地域福祉に取り組むことができる体制の構築に向けた行政組織の見直し**

目 的	総合的な地域福祉の取り組みの促進
実施内容	<p>既存の相談窓口や関係機関などの既存の地域福祉に係る組織体制を見直し、地域において、区民、事業者、行政が一体となって地域福祉の向上に取り組むことができる体制を構築する。</p>

## c) 心と体の健康づくりを推進します

**事業 c-1：高齢者の健康づくりや認知症予防に関する取り組みのPRの強化**

目 的	既存の健康推進事業の取り組みの周知・徹底
実施内容	<p>既存の介護予防事業を拡充するとともに、そのPRを実施するなど、高齢者の健康づくりや認知症予防に関する取り組みを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区は、既存の健康推進事業に関する情報を区民に周知・徹底させる。一人暮らし高齢者で地域社会に参加できない、または参加する意欲のない人などを対象として参加しやすい環境づくりや、介護サービスの充実を進める。</li> <li>・ また、病気の早期発見に向け、受診を促進させるための広報を積極的に推進する。特に、認知症は今後大幅に増加することが見込まれることから、専門医療機関へ受診させるように、家族や周囲の人への理解を促進する。</li> <li>・ 区民は、区や町内会などによる既存の体力づくりの取り組みに積極的に参加するとともに、体力づくりの必要性の高い人に積極的に取り組みを紹介し、参加を促進していく。</li> <li>・ また、様々な自主グループの様々な活動(健康体操や趣味の講座など)を地域の相談窓口や「食のほっとサロン」「ボランティアセンター」などで紹介し、口コミで広げる。</li> <li>・ 区内の開業医など専門家は、健康づくりの基本である食生活、運動に関する指導や講演等を積極的に行う。</li> </ul>